

成果の説明書

(氏名)	中村 匡克	(学部)	地域政策学部
1 重要事項 (1) 研究活動 科学研究費助成事業（研究課題／領域番号：23K01402）の研究分担者として、計 4 セッションの経済実験を高崎経済大学において実施しデータを収集した。 また、令和 5 年度高崎経済大学研究奨励費を用いて、計 6 セッションの経済実験を高崎経済大学において実施しデータを収集した。 なお、収集済みのデータはいずれも整理を終え、解析作業を進めているところである。 (2) 教育活動 今日、教員から学生への一方通行型学習ではなく、教員学生相互の議論を通じた双方向型学習により、考える力や説明する力を養成すること、またそれによって学習内容を定着させることが求められている。そこで、授業では、知識の説明をした上で、関連する論題を提示して議論する機会を用意する工夫をした。議論をしたり学生に意見を求めたりする授業は少ないらしく、学生からは新鮮だったとの回答を得た。また、過去に作成した授業動画を予習復習用として活用するなどした。 博士後期課程在籍の大学院生（制度上指導学生ではない）の論文指導（計量モデルの改善や執筆論文の文章校正など）に多くの時間と労力を費やした。指導した論文は、学会誌に査読付き論文として掲載された。 (3) 社会貢献 計画行政学会理事、経済政策学会関東部会理事としての仕事に取り組んだ。また、計画行政学会全国大会（日本大学）のプログラム委員会副委員長として大会準備に携わった。その他、群馬県大規模小売店舗立地審議会において委員または会長、吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会の委員長としての仕事に取り組んだ。			
2 その他の事項 特になし			
3 次年度以降の計画・抱負 (1) 研究活動 科研費ならびに奨励費を用いて実施した経済実験によるデータ収集を継続する一方、収集データの解析と論文執筆を進める。研究成果については、一定のコントリビューションが発揮でき次第、関連する学会等で報告する予定である。 (2) 教育活動 教育活動においては、双方向型学習の取り組みをより深化させらるよう検討したい。授業動画の作成ノウハウも蓄積されてきているので、古いものは新しいものに作り直し、予習復習用の教材として WebClass に掲載することを検討している。			